

議会報告会開催概要（釧路地区）

開催日時	平成 25 年 10 月 24 日（木）18：00～19：29
開催場所	コアかがやき（研修室兼学習室）
参加人数	5 人
出席議員	<p>黒木 満議長</p> <p>月田光明副議長 ～質疑応答・意見交換進行役</p> <p>高橋一彦議員（議会運営委員長）</p> <p>金安潤子議員（総務文教常任副委員長）</p> <p>佐藤勝秋議員（総務文教常任委員）</p> <p>松尾和仁議員（経済建設常任副委員長）</p> <p>三木 均議員（経済建設常任委員）</p> <p>村上和繁議員（経済建設常任委員）</p> <p>大島 毅議員（民生福祉常任副委員長）</p> <p>石川明美議員（民生福祉常任委員）</p> <p>土岐政人議員（石炭対策特別委員長）</p> <p>松橋尚文議員（広報特別委員長）</p>
質疑応答の内容	<p>問：資料の一般質問の項目で、市側の答弁が掲載されていないのはなぜか。</p> <p>松橋：意見交換に時間を多く配分するため答弁の部分を省略したが、ご意見は今後の報告会に生かしていきたい。</p> <p>問：本日の来場者が少ないが、どういう広報をしたのか。</p> <p>松橋：前回のアンケート結果では、議会報告会を知ったきっかけとして、「広報くしろ」、「新聞報道」、「議員からのお知らせ」が多かったため、これらによる周知を行った。これらにプラスして、各町内会への案内を行った。</p> <p>問：質疑・一般質問に関して、①駅周辺の再整備、②老朽化空きビルの対策、③学校の体罰調査の3点について、それぞれどのような答弁だったのかを聞きたい。</p> <p>松尾：①平成 27 年度までに事業の方向性を定めたいとの答弁があった。②市が個人の財産に対して、公費により対応することに</p>

は慎重な姿勢をとっているが、融資制度について今後研究していきたいとの答弁があった。

三木：①の件については以前の経済建設委員会で、駅の高架化やまちなか居住に関する議論を行っている。

金安：③体罰は今回の調査以外に判明したものも含め、計3件あったと答弁があった。それぞれについては、解決済みという報告を受けている。重大な事案については、その都度教育委員会に報告がされるようになっている。また、教職員の研修も行われているとの報告を受けている。

問：他都市の事例では、学校と教育委員会との連携がうまくいっていないこともあるようだが、釧路はそのようなことはないということで、とらえてよいか。

金安：そのように理解している。

問：カジノ誘致構想については、市民の認知度はまだ低く、メリット・デメリットなどを明らかにし、市民の意見も聞いてもらえる場が必要だと思う。

村上：本会議において、カジノを含めた統合型リゾート（IR）の誘致について、市民の合意があるのかと質問されており、市長からは、国の法律が改正されないと誘致ができないものであり、法改正されていない今の段階で市民合意をはかることは難しいとの答弁があった。また誘致の焦点は阿寒湖畔となっているが、NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構という地元の観光とまちづくりを担っている団体での年次総会で、IR誘致を事業計画に取り上げており、地元合意はとれていると考えている、との答弁があった。IR誘致には、観光業にプラスの効果があるというメリットがある一方、ギャンブル依存症の拡大の恐れというデメリットもある。ご意見を参考にしながら委員会でもしっかり審議したい。

問：阿寒のホテルで働く知人から、誘致に反対であっても、仕事上声を上げにくいという意見を聞いたことがあり、そこに問題があると思う。また、広報くしろやインターネットを介して市

	<p>民の声を聞く場面が多くなっているが、実際に会って伝えられるこういう場をたくさんの方に知ってもらいたい。</p> <p>月田：国の法律整備がこれからで、IRに関する具体的な情報がまだ提供されていないが、今後市民の意見を聞くことになった場合には、一人一人の意見をできるだけ丁寧に拾い上げていくように、また議会議論に反映できるようにしていきたい。</p> <p>問：美原インターチェンジの整備に関連し、災害が発生した時には、美原周辺の交通量が増大すると思われる。道路予定地となっている美原の緑地帯を含めて、インターチェンジ以外にこの地域の道路の整備計画に関して、経済建設常任委員会では議論されているのか。</p> <p>村上：都市計画道路全般については、交通量や防災の観点から現在見直しを行っている。</p> <p>佐藤：都市計画道路は、釧路市域が大きく拡大していた時代に、都市計画上で整備を計画していた道路である。しかし近年は人口も減少に転じて経済も低迷期に差しかかり、計画にとどまっている現状がある。このまま計画だけ持っても現実的ではないので、将来的見地から絞り込んでいく考えで進めている。市民の意見を聞く機会を設けながら、優先順位をつけて進めているので、もう少し時間を持って見ていただきたい。</p>
<p>市への 意見・要望</p>	<p>問：児童センターの除雪は現在、運営協力会や厚生員が行っているが、女性が多く大変であり、市で行うべきではないか。</p> <p>松橋：私も鳥取西児童センター運営協力会副会長をしているが、除雪はそれぞれの館の運営の中で、運営委員会が中心となって行うことをご理解いただきたい。ご意見としては承りたい。</p> <p>大島：ごみステーションでも同様の問題がある。現状は各町内会でそれぞれ対応してもらおうとのことだが、今後どういうことができるのかということ委員会ですっかり議論し、報告していきたい。</p> <p>問：児童館の除雪について、私の地元の町内会のように、児童館へ運営費を渡しているところもある。地域の宝である子どもを</p>

みんなで育てるという意味もあり、全部行政がやるのではなく、地元の力を使っているところもあるという実態を踏まえて、議員の皆さんには行政と市民のパイプ役を務めてほしい。

月田：温かいご指摘、承りたい。